NPO法人

奈良21世紀フォーラム

2005年会報第2号

（2005年5月31日発行）

平成17年度通常総会開催

今年の通常総会の会場は奈良町の元興寺で、当日5月14日は好天に恵まれ境内を散策するには絶好の日和となった。

（元興寺の21世紀フォーラム総会受付風景）

総会は国宝である僧坊（禅室）で行なわれ、議案は滞りなく承認され終了しました。総会に先立って、石橋理事長が春の叙勲で旭日重光章を受けられたことに当フォーラムよりささやかなお祝いをさし上げました。

（国宝　禅室での総会風景）

また、これまで当フォーラムの事務方を献身的に手伝っていただいたお二人の女性に記念品を贈呈しました。

総会後、この会場を快くお貸しいただいた元興寺の　辻村泰善住職の講話を拝聴しました。

お話では、世界遺産になって観光客が増えたようだ。

仏教の「極楽とはどんなところか」「誰も行ったことがないから知らないのだが、夢に出てくる」という話から、元興寺の僧智光が、夢で礼光に出会い礼光の語る極楽浄土の世界を、目覚めて情景を細かく描かせたのが、有名な「智光曼荼羅」であると。10世紀末くらいから浄土信仰が盛んになり、元興寺の智光曼荼羅も庶民の信仰を集めたとのことである。

確かに境内を歩いてみると、大変親しみやすいお寺でした。

（お話される辻村住職）

「暮らしと環境フェスティバル」に参加

4月2日・3日に奈良県文化会館で開催された「暮らしと環境フェスティバル」に「森と水の源流館」(奈良県川上村)と共同でブース展示を行い、個人の環境を守る意識向上の運動に参加した。

このフェスティバルでは、①環境に優しく、暮らしを豊かにする取り組みや具体的な商品を紹介する企業・団体・行政の展示コーナー、②エネルギー体感会場、③リサイクル料理講演会、④自然素材のからくりおもちゃ体験⑤浜村淳さんほかのエコライフトークなどのイベントが行なわれ、両日で7千人が来場しにぎわった。

奈良県川上村が「循環・共生・参加まちづくり表彰」(環境大臣賞)に選ばれた

当フォーラムが支援・協力している「水源地の森」保全活動(川上村)が大きく評価され、平成16年度全国で10団体が、環境の恵み豊かな「持続可能な地域づくり」に取り組み顕著な実績を上げているとして、環境大臣賞を受賞しました。

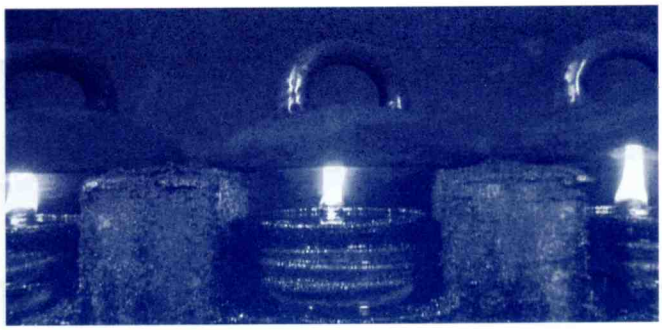
奈良県に残る伝統行事や伝統産業をデジタルアーカイブ(デジタル記録)として残す作業がいよいよ本格化しました

昨年、(財)デジタルコンテンツ協会の「後世に残すべき優れた製造・加工技術や伝統技術に裏付けられた現代の職人技等を高精細デジタル映像にて記録・保存」事業に「奈良の墨づくり」をテーマに応募、見事選ばれました。

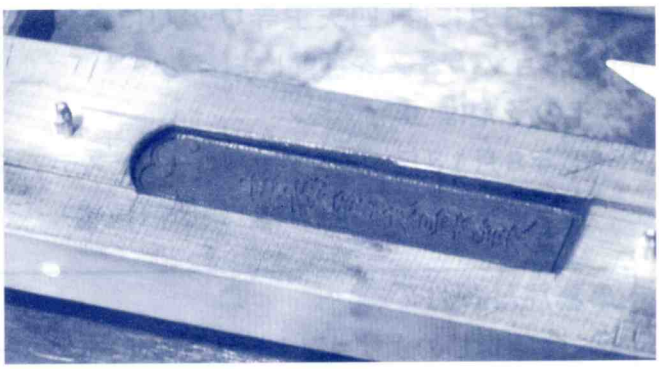
「究極の墨の色を求めて」

～古都・奈良の墨づくり～

あなたは墨がどのようにして作られるか知っていましたか？　菜種油などを燃やし、「すす」を集め、それを「にかわ」とまぜて固めるのです。



(「すす」を集める)



(木型に入れて墨の形にする)

(つるして自然乾燥させる)

墨ができる工程を33分間のハイビジョン映像にまとめてデジタルコンテンツ協会へ収めました。製作工程で機械が使われているのは、「すす」と「にかわ」を混ぜ合わせる工程だけで、その他の工程は、職人の技と昔ながらの道具を使ったものばかりです。

普及版を作って会員の皆様には実費でお分けしたいと考えています。

平成17年度の事業計画は下表のとおりで、昨年の活動をベースに更に頻度を高めたり、新たな事業に繋げたり発展が期待できます。

①注目される箇所にビデオカメラを設置してライブ映像を送るなど広帯域のIT化を進める。そのためケーブルネットとの連携も視野に。 ホームページの充実。
②自主制作アーカイブソフト「奈良の墨づくり」の普及版を製作頒布。
③戦没者の遺族・離村者を結集し、吉野川精霊流しを企画提案。
④万葉けまり、公開競技実施
⑤大和の食文化を考えるシリーズ
⑥伝統的建造物指定をめざす現況調査

3月末に現理事、監事の任期が満了したため、この総会で現理事・監事の再任と新理事の選任が行なわれました。

【再任】

理事長	石橋毅一	専務理事	扇谷泰之
理事	榧木 康雄	理事	中嶌 實男
理事	堀井 良殷	理事	増尾 正子
理事	水谷川忠俊	理事	山口 昌紀
理事	和田 萃		
監事	中嶌 大	監事	福嶋 重博

【新任】

理事	安細 恭弘	理事	池辺 忠男

【退任】

理事	谷口 利夫

食文化シリーズ
2005年の第一回は清澄の里で大和野菜をいただく

3月26日晴れてはいるものの肌寒い中、鄙びた清澄の里「レストラン粟」で大和野菜をいただく企画。

今日のメニューは「お豆ごはん前菜盛り」＋飲み物＆デザートである。「粟」のご主人、三浦雅之さんからお皿の料理の説明を受けました。

この時期は根菜が多くなるとのことで、本日は、独特の粘りと甘みが特徴のウーハン、ホクホクとした食感の八つ頭、仏様の手のひらのような仏掌芋などなど。

写真のお膳に加え、ふきのとうや菊芋のてんぷら、煮物、仏掌芋をすって湯葉の上に添えたもの、すった大和芋が入ったお味噌汁、黒米と黒豆が入ったごはん、デザートには「むこだまし」という粟の饅頭、満腹と満足という心地になる。

三浦さんが書いた論文の中に「京都の野菜は売る野菜、大和の野菜は自ら作って自ら食べる野菜」という文章があるが、実感したところです。

次回は京都市の錦市場の京野菜を予定しています。

今年は「万葉けまり」の国際交流が目白押しです

昨年は8月に韓国の少年サッカーチームが来日した折、大阪の長居競技場での日韓交流フェスティバルに参加し、「万葉けまり」の交流試合を行ないました。

（韓国少年サッカーチームとの交流）

また、11月には「四天王寺ワッソ」に参加、エキビジション・ゲームを披露しました。

今年の予定は

2005年8月13日　アジアサッカーフェスティバル（大阪・長居競技場）

2005年11月6日　四天王寺ワッソ（史跡難波宮跡公園）

2006年3月28日　日独親善交流「万葉けまり」を予定

「日本におけるドイツ年2005/2006」にちなんで、ドイツ・バイエルン州選抜17歳以下少年サッカーチームが2006年3月に来日します。

奈良日独協会（会長　河野良文　大安寺貫主）は、このサッカーチームを3月26日～29日まで奈良市で受け入れ、鴻の池陸上競技場でサッカー交流試合を行ないます。

さらに、日独少年たちの親善友好交流として、28日に東大寺境内で「万葉けまり」の交流試合を行なうことが最近決まりました。

事務局だより

○ 今年はじめより当フォーラムのホームページ（http://www.h7.dion.ne.jp/~nara21cf/）を充実しました。とにかく新しい記事をどんどん書き込み更新を増やしました。おかげで、ホームページ訪問者は増加してまいりました。

○ 新規会員を募集しています

奈良21世紀フォーラムは会員ひとりひとりのご支援によって運営されています。弊フォーラムの趣意をより多くの方々にご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【会員の状況】

正会員　個人　44名　法人　4社　　賛助会員　個人　24名　法人　5社

編集　池辺忠男　安細恭弘　大辻康夫　樫原陽子
発行　特定非営利活動法人
奈良21世紀フォーラム

〒630－8114　奈良市芝辻町4－3－1
ラックエリア橋本ビル5F
Tel&Fax　0742－35－7007
e－mail　nara21c@r5. dion. ne. jp
http://www.h7.dion.ne.jp/~nara21cf/

役員

理事長	石橋殼一	専務理事	扇谷泰之
理事	安細恭弘	理事	池辺忠男
理事	榧木康夫	理事	中嶌實男
理事	堀井良殷	理事	増尾正子
理事	水谷川忠俊	理事	山口昌紀
理事	和田　萃		
監事	中嶌　大	監事	福嶋重博